

グローバル人材育成プログラムに参加して

久 光 薫
Kaoru HISAMITSU
物質化学科 3年

1. はじめに

私はアメリカと日本の働き方の違いや、考え方の違いなど、自分がこれまでにしたことのない経験をしたと思い、このグローバル人材育成プログラムの研修に応募し、臨みた。

2. シリコンバレーツアー

2.1 Google 社内見学

Google での社内見学はすごく貴重な体験となった。まず、何よりもとても環境の良い施設である。社内にはジム、いろいろな娯楽施設、社員がリラックスすることができる休憩所、食材の豊富な食堂など社員の人のヘルスケアやストレス発散のできる環境が揃っているのが見て取れた。しかし、社員は遊んでばかりいるのではなく仕事をするときはとことんするといったように多くの人が食堂だけでなく休憩所でもパソコンを使い作業をしている人がたくさんいた。実際に働いているわけではないから Google 社で働くことが苦なのかどうかはわからないが、働いている人たちにとってはとても仕事のしやすい環境なのでは、と感じた。



2.2 Intel 社

Intel では半導体が有名であるが、ムーアの法則が大きく書かれていた。集積回路上のトランジスタの数は 1.5 年ごとに倍になって行くというものである。つまり時間が経てば経つほど半導体業は発展して行くというものだった。半導体のことは無知識だったためすごく勉強になった。

3. ホームステイ

今回のグローバル人材育成プログラムで初めてホームステイをした。ホームステイ先にはご夫婦の二人とその娘さんが三人と中国からの留学生の男の子が一人いた。結論から言うと六人とも全員優しくて、面倒見の良い人達だった。初日に初めて会った時、その日からモールや晩御飯に連れて行ってくれるような良い人達だったが、はじめの方は私が英語を全然聞き取れなくて会話ができなくて挫折しそうになってしまったが、あえて夜の時間に一緒に散歩をして話さなければならぬ状況を作り、諦めずに話しかけて、分からなかったらもう一度聞き、それでも分からなければ、Google 翻訳を活用しとにかく少しずつでも、とにかく英語に触れる機会を増やしました。すると少しずつだが何を言っているか理解できるようになった。しかし、聞き取れるようになってもホストの人と同じくらい喋れるわけではな



いから自分の意志正確に伝えることができなくてもどかしかったものの、初日より確実に上達はしているので嬉しかった。また、その家ではテレビで映画が見放題であったため映画で勉強もしたが、一度しかできなかったため少し残念だった。門限については自分の家ではなかったがだいたいの帰る時間、遅くなるなどの報告はするようにしておいた。家のルールは目立つものは特にはなかったが、水周りのルールはあった。シャワーは1度で10分までというのと、洗面所の水を出しっぱなしにしないなど、水の無駄遣いはしないように言われた。

4. インターンの出来事

私が今回の研修で働かせていただいた「Ukulele Source」は2008年9月にSmiley Kaiさんと奥さんのJanetさんがご夫婦で開店し、営業されている。Ukuleleとはその名の通り、楽器のウクレレのことである。初心者向けの比較的安めのウクレレから、上級者向けのもの、すごく高価な本場のハワイで作られたものまで幅広く扱っているお店だった。また、品揃えだけではなく、落ち着いた雰囲気ですごくリラックスして働くことができる環境の良い研修先だった。ウクレレのチューニング、開店作業、閉店作業、接客、在庫陳列、中学校の生徒に渡すウクレレの袋詰め、楽譜の在庫確認、ウクレレコンサートの会場準備、スタッフなどだった。初日からチューニングの仕方を教えてもらい、毎日30個余りのウクレレをチューニングした。接客はやはりホームステイと同じで英語を話すのが難しかったが、日常会話と接客の英語が少し違ってくるため、大変だったが、オーナーさんが丁寧に教えてくださるので何となく研修を行えた。次にウクレレバンドのコンサートがあり、その会場設営、撤収、スタッフをした。イベント自体はすごく良い雰囲気が進み無事に終わることができた。オーナーは私にウクレレを渡し、これをあげるから練習しておいてと言われたので、ありがたくいただき一生懸命練習し、担当の



先生が来た時に披露をしたが、逆に先生にギターの腕前を披露されてしまった。すごく楽しかったし、盛り上がった。他には中学生に届ける35個のウクレレをチューニングし、袋詰めをして学校の先生が来るまで段ボールに詰めたりした。こちらの中学校では音楽の授業でウクレレを弾いていることに少し驚いた。日本でそうしている学校は少ないだろうなと思われる。後日このウクレレは先生と思われる人に持って行ってもらった。また働いていると、日本から私用でこられた日本人の方が来店なさってウクレレを見に来られたのですが、次の送別会で弾くつもりだということだったので他で買うよりも安いので買ってみてはどうかと提案したところ、その日は帰られたのですが、またご来店なさった際にご購入されました。日本人のお客さんではあったのですが少しでも貢献できてよかったです。その日以外にも日本人のお客さんはたまに来て購入されることがありました。また店に置いてある楽譜の在庫確認を行った。英語で書いてあるため手間取ったり、リストに載っている本がなくて混乱したり、本の量も多かったため、時間をかけてしまった。最終日にはやはり名残惜しいものがあつた。

5. おわりに

この研修で得られたものはすごく多かったと思うし、かけがえのない経験になったのでこの経験を活かしてこれからも成長できたらと思う。また、英語はもっと話せたら便利だと考えているので、勉強して外国に行った時活用しようと考えています。